

# 出会った人を大事にしようと思う70分

## acisepp公演『そのとき彼女は左手を頬に伸ばした』

劇団INTELEVIISTA 田面木昭憲

この数年、演劇関係の知り合いが増え、一段と忙しくなった。誰かと繋がっているのは安心感もあり、新しい刺激を与えられる瞬間もあり、悪い気はしない。同じ演劇人として何かをぶつけ合い共有できる心地よさや、何か自分には無い魅力や技術を見せつけられ圧倒され奥歯を強く噛む想い、また裏方に徹して表には見せないが、ひしひしと伝わるプロ意識と絶対の信頼感も、演劇を介して誰かと繋がっているからこそ味わえるものである。演劇は決して一人では作れない。

今回、演劇ユニットacisepp『そのとき彼女は左手を頬に伸ばした』を観劇した。以前から交流のある劇団で、今までも何度か公演を見てきた。出演させていた



いたこともある。決して遠い関係でもない私から見ても、今回の作品は実に秀作だった。

彼女を亡くした男が、過去の思い出や友人とのやりとりの中で、自分の存在を位置づけようとするのだが、最後の場面で崩壊してしまふ。かくも男はこんなに脆いのか。彼女との思いの詰まったこの家で、彼女と自分を繋ぐ土地を必死に守ろうとする男はとても醜かった。自分を落ち着かせ、冷静を装い「俺は大丈夫だから」と虚勢を張る。

かつて誰かが「日本の男は彼女や妻をママ化させる」とTVで言っていた。そのことを思い出した。どこに何があるのかわからない。自分のパンツも探せない。おそろくそういうものだ。でも、それは彼女（今回は敢えて「妻」とは呼ばない）と繋がっていることではない。断じて甘えているのではない。かつて母親に守られ、母親を喜ばせたいと思い、母親を守るべしと教えられた男児は、その対象を彼女にシフトしたのだ。決して彼女をママ化させたのではない。しかし、その対象が消えてしまったら…。「親は自分より早く死ぬものだ」という大義名分のない彼女が自分よりも早く逝ってしまったら…。自分が大切にしてい

た繋がりが何の前触れも無く消えてしまったら…。彼女を喜ばせたい、彼女を守りたい、ただそれだけの想いが裏目に出て後悔し、それをひたすら耐える姿は実に醜かった。辛かった。

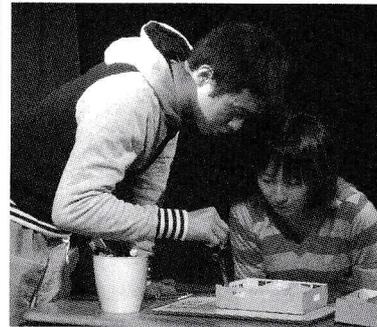
終盤、男は彼女のプレゼントを抱え号泣する。先を見すぎて今が見えなかった自分の愚かさや彼女の温かさに触れて。人目をばっかりばかりの絶叫で。美しかった。とても心が痛くなった。でも、自分に正直に泣く男の姿は美しかった。

なにも問題は解決されなかったかもしれない。しかし観劇を終え、私の心は満たされていた。いい芝居を観た。そして、同じ演劇人として悔しかった。

誰かと繋がる大事さと、失うことの大きさを感じた今、隣にいる

人を大事にしようと思う。今出会った人を大事にしようと思う。今までもに出会った人を大事にしようと思う。そんな70分だった。

今この記事を読むあなたも、Space BENという小空間で何かと出会うことをお勧めしたい。



### 演劇空間

## スペースベン

八戸市柏崎1-11-8  
☎ 0178-43-9876  
FAX 050-3588-8350  
tsutomu\_tanaka  
☎080-6025-0990  
HP <http://spaceben.com/>  
Eメール owner@spaceben.com

※特別番組以外全て午後7時30分～、料金/一般500円 高校生以下100円

※料金改定しました！ 高校生以下は、特別番組以外100円でご覧になります。チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

### Friday Amusement Negative Shop

- 1月4日(726回)  
勝手に新年会 構成:FANS
- 1月11日(727回)
- 1月18日(728回)
- 1月25日(729回)  
タイトル未定 脚本:沼澤豊起  
ひま人DJ編200801 構成:田中勉  
ZOK.4 構成:安達良春

## 1月号好評発売中!

### ●今月のテーマエッセイ「ふるさと」

左館秀之助/桃沢孝子/大久保等  
熊谷実香子/瀧澤清伍/宇波匡子  
亀本光弘/佐々木絵理子/長谷川直行  
館光子

八戸の月刊誌

# うみねこ

Hachinohe Monthly UMINIKO

# 1

月号 2008 509号

### ●新春インタビュー

傑野月会館代表取締役会長

野月留蔵さん(83歳)に聞く

●読物満載

毎月ご愛読ありがとうございます

発行所/うみねこ出版社  
八戸市六日町10いわとくパルコ3F  
TEL・FAX 0178-44-6636